

テキスト

ブログで Web ページを作ろう！

第 4 章 アフィリエイトの基礎知識

(2005/08 作成)

(2006/03 一部改定)

4.1 お金をもうけるのは簡単ではないが、努力次第ではもうかるアフィリエイト

第 1 章で触れましたが、アフィリエイトは、Web ページを使った新しい副業の形です。インターネットで商品を販売する会社 (EC ショップ) と提携し、その商品を自分の Web ページで売るというインターネットの代理店システムです。アフィリエイトは現在、個人が参入しやすくなっていて、「簡単にもうかる！」というイメージが少し先行しているように感じますが、果たして本当にもうかるのでしょうか？

これは非常に難しい問題です。実際にたくさんもうけている人はいますが、結論から言えば、簡単にはもうかりません。お金をもうけるというのは、やはり大変なことで、もうかっている人はもうけるために努力をし、時間を費やしているのです。

また、「もうかる」といっても、人によってお金の価値観は違います。たとえば、アフィリエイトで月に 2 万円というお金が入ってきたとします。その人にとって、2 万円という金額が大金ならば、「もうかった」ということになるでしょうし、一方、2 万円がたいした金額ではない人にとっては、「まあ、小遣いの足しにはなったな」くらいで、さほどもうかったという印象は受けないでしょう。

月 5000 円を手元に入れるには.....

アフィリエイトで実際にどれぐらいのお金が入るか、詳しくは後述しますが、簡単にいうと、1 つの商品を売って得られる報酬は、売上高の約 1~3% です。なかにはもっと料率が高い商品もありますが、数は少ないでしょう。

さて、最近は「アフィリエイトで何十万もうかる」というフレーズの本や雑誌記事などをたくさん見かけますが、実際にそれだけもうけるのは簡単なことではありません。

ここで、目標額をもうけるには、どれだけの売上げをあげなければならないのか、計算してみましょう。

商品 1 つの売上げに対するマージンが 3% で、月 5000 円を自分の手元に入れたいとする場合：
100 円の商品を 1 つ売ったとすると、マージンは $100 \text{ 円} \times 3\% = 3 \text{ 円}$ になり、3 円が自分の懐に入ります。1000 円分売れば 30 円ですね。これで、5000 円を自分の手元に入れるとなると..... $5000 \text{ 円} \div 3\% = \text{約 } 16 \text{ 万 } 6666 \text{ 円}$ 、なんと月に 16~17 万円分の商品を買わなければなりません。日割りにすると、ざっと 1 日 5000 円以上の売上げが必要です。

商品 1 つの売上げに対するマージンが 1% で、月 5000 円を自分の手元に入れたいとする場合：
100 円の商品を 1 つ売ったとすると、マージンは $100 \text{ 円} \times 1\% = 1 \text{ 円}$ になり、1 円が自分の懐に入ります。これで、5000 円を懐に入れるとなると... $5000 \text{ 円} \div 1\% = 50 \text{ 万円}$ 。なんと、月に 50 万円分の商品を買わなくてはなりません。日割りにすると、ざっと 1 日 1 万 5000 円前後の売上げが必要です。

この 2 つの例からも、5000 円というお金をもうけるだけでも、何十万円分もの商品を買わなければならない

ということがわかりになるでしょう。10万円、30万円稼ごうと思ったら、いったいどれくらいの売上げをあげなければならないかは計算できますね。

もうきたい金額が大きくなればなるほど、当然、数点の商品だけではまかないきれなくなります。そのため、商品の数も揃えなければならない、読者が商品を気に入って買ってくれる工夫もしなければならないなど、知恵と工夫が必要になります。そして、結局はパソコンに費やす時間が増えていき、時間も消費します。

このことからわかるように、アフィリエイトでお金をもうけることは、決して楽ではありません。楽にお金もかかるしくみであるならば、おそらくインターネットを楽しんでいる人みんながお金もちになって、ホクホクしていることでしょう。

しかし、ここでがっかりしないでください。お金をもうけるのが楽ではないというのは、世の中の常識！！アフィリエイトでなくても、普通の仕事でもおなじです。

アフィリエイトが決してもうからないとはいいません。実際に、もうけている人はいるわけですし、もうけることが不可能ではないからです。もうけるにはやはり、コツと時間が必要です。「アフィリエイトを始めました、はい、すぐにお金が入りました」という現実など、実際にはほとんどありません。

今、成功を収めている人たちにしても、最初からもうかっていたわけではないのです。半年、1年、2年と気長に続けて、その結果、お金につながるようになったというのが本当のところですよ。

ですから、皆さんも焦らないでください。サイト運営が上手にできるようになれば、お金は後から自然についてきます。焦らずゆっくりとやっていきましょう。

4.2 アフィリエイトの意味を正しく知っておこう

アフィリエイトの意味

最近、あちこちで見かける「アフィリエイト」という言葉。横文字なので、意味を知らないと感じてしまいますね。そこで、まずアフィリエイト(affiliate)の意味を確認しておきましょう。

辞書を引くと、次のような意味であることがわかります。

【affiliate】

【動詞】 (人、団体)を加入させる / を合併する、提携させる

【自動詞】 関係する / 提携する、協力する / 加入する (引用 『新グローバル英和辞典』三省堂)

「アフィリエイト」という言葉はすでに氾濫していますから、単なるインターネットサービスの1つのように錯覚しがちです。Affiliate という単語には、「提携」や「協力」といった意味が含まれます。このことからわかるように、アフィリエイトは、商品をインターネットで販売する実際の会社と提携して、自分の Web ページにその会社の商品リンクやバナーなどを貼って販売し、売れたとき一定割合の報酬を受け取るしくみです。

広告バナーとアフィリエイトの違い

ただし、アフィリエイトは、従来の広告バナーとは少し違います。

ポータルサイトなどでは、広告バナーをよく見かけます。それをクリックすると、企業などのサイトが表示され、資料請求であったり、会員カードの加入であったりという宣伝ページが表示されます。これらの広告バナーは、バナーを貼る側がサイトに宣伝スペースを取り、広告料金を定めて広告主を募集して掲載しています。

これに対し、アフィリエイトは広告主が「この商品バナーを貼ってくれたら何パーセントお支払いします」と成果報酬の条件を設定するのです。そして、販促条件に納得してもらえるアフィリエイトサイトの運営者にアフィリエイトプログラムを提供します。つまり、私たちアフィリエイター(アフィリエイトを実践する人)は、自分が販促できる商品だけを選んで、代理店となって売っていけばよいのです。ただし、その場合、仕入れ先となる

EC ショップと呼ばれるサイトと提携関係を結ぶ必要があります。このとき、アフィリエイトと EC ショップを仲介してくれるのが、ASP（アフィリエイト・サービス・プロバイダ）と呼ばれる業者です。

この提携関係を結ぶとき、多くの場合、Web ページ審査が必要になります。最近でこそ、「楽天市場」や「BIDDERS(ピッダーズ)」など、Web ページの審査を不要とし、誰でも気軽に参加できるアフィリエイトプログラムを提供しているサイトが増えてきていますが、「Amazon.co.jp」や「リンクシェア」、「A8.net」などの ASP では、Web ページの審査が必要です。もっとも、審査の基準は以前よりは低くなっています。とはいえ、「審査がある」ということは、その時点で Web ページにそれなりのコンテンツがあることが必要になります。このことからわかるように、今でこそ、まったく初めての人でも簡単に始められるようになったアフィリエイトですが、基本は 1 つのビジネスなのです。ビジネスといっても、もちろん、1 カ月の売上げノルマがあるとか、一定の売上げを続けなければならないといった規則があるわけではありません。また、EC ショップを特定する必要もありません。商品リンクという形の商品を仕入れたら、陳列や紹介方法などは皆さんに任されているのです。

そのため、アフィリエイトを実践してお金になるかならないかは、ひとえにサイト運営者の腕にかかっているというわけです。そこにアフィリエイトの面白さがあるともしえるでしょう。

まずはアフィリエイトを始めてみよう

まとめましょう。アフィリエイトとは、アフィリエイト（ブログのオーナー、つまりサイト運営者）が商品リンクやバナーなどといった形で商品を仕入れ、Web ページで仲介して報酬を得ることです。もっとわかりやすくいうと、アフィリエイトは商品を仲介することによって EC ショップの入り口へ読者を案内することなのです。

アフィリエイトは、サイト運営者の知恵と工夫次第でひともうけすることができるというのも嘘ではありません。成功者の声を聞くとわかりますが、アフィリエイトのやり方は十人十色。アフィリエイトの始め方、もうけ方といったコツはあるにはありますが、こうすれば絶対にもうかるというしくみはありません。向き不向きもありますし、皆さんの性格にも左右されます。

でも、まずはやってみましょう。ブログはもちろん、アフィリエイトも審査のない ASP を利用すれば簡単に始められます。もうけることを最初に考えるのではなく、見よう見まねでかまいませんから、まずは始めてみることで。

4.3 アフィリエイトのしくみ

それでは、アフィリエイトについて、もう少し具体的にしくみを解説していきましょう。

前節でも述べたように、アフィリエイトは、アフィリエイトサイトの運営者が ASP を通して EC ショップと提携し、商品を仕入れる（商品リンクを張る）しくみです。運営者は仕入れた商品が売れたら、提携先の EC ショップから報酬を受け取ります。

アフィリエイトのしくみと流れ

たとえば、個人的に開設している趣味のサイトで、これまで多くの読者を得ていたとしましょう。かりにサイトでテーマにしているのが「バラの花」だとします。ここには、バラ好きの人がたくさん集まっています。

そこで、「バラの花」サイト運営者は、珍しいバラの花を読者が簡単に購入できるようにアフィリエイトしようと考えます。まず、運営者は、ASP やアフィリエイトプログラムを提供している業者に登録し、実際にバラの花を扱うフラワーショップと提携します。そして、バラの種類を紹介するとともに、提携した EC ショップの商品リンクを張ります。こうすることで、読者は珍しいバラの種類をこの Web ページで知ったうえに、商品リンクをクリックしてすぐに該当する商品が購入できるようになります。珍しいバラを手に入れるのは困難なことですが、こうして商品のリンクが張られていると、読者はインターネット上で簡単に商品を見つけ買えるようになります。

バラを買いたいと思った読者は、商品リンクをクリックし EC ショップのサイトにジャンプします。このとき、たとえば読者が 5000 円のバラの花を注文したとします。買い物そのものはジャンプした EC ショップで行うわけですが、「バラの花」サイトからジャンプしてきたという記録が EC サイト側のアフィリエイトプログラムに残ります。

商品の受付処理や発送処理はもちろん EC ショップが行い、バラの花が発送され商品が読者の手元に渡れば取引完了です。そして EC ショップ側では、「バラの花」サイトに成果報酬として最初から決めておいた利率、たとえば 5%であれば、250 円の報酬を支払います。

以上がアフィリエイトの流れです。「バラの花」サイトの立場でいえば、よりたくさんの読者がこのように商品を購入してくれるとそれだけもうかります。5000 円のバラを 10 人の読者が購入してくれたら、2500 円の報酬になります。たくさん売れば売るほどお金が入ります。

実際には、サイト運営者は商品リンクを張り商品紹介をただけです。商品の注文処理をしたわけではありません。それでも、読者が商品リンクをクリックして商品を購入してくれると、このように報酬が発生するのです。さらに、アフィリエイトは、EC ショップにとってもメリットが大きいのです。EC ショップのサイトだけでは読者数が限られてしまいがちです。こうしてアフィリエイトプログラムを提供しておく、個人などのホームページやブログを通してたくさんの購入者を獲得でき売上げを増加させることができますから……

このようにアフィリエイトとは、アフィリエイトと EC ショップの双方にメリットをもたらすしくみなのです。

成果型報酬の形はいろいろ

前述したアフィリエイトの例のように、報酬は多くの場合、商品の売上高に対する割合で支払われます。しかし、それに限られているわけではありません。なかには、アフィリエイトサイトにバナーを貼ってもらい、クリック数 1 つに対して 10 円支払ったり、読者がバナーをクリックして資料請求してくれたら 300 円、読者が会員登録したら一人当たり 100 円というように、割合ではなく一定金額を条件にしている EC ショップもあります。

もちろん、こういったタイプを選択するかは自由です。アフィリエイトは自分が紹介しやすい商品を選んでいけばよいのです。ただし、少しでも高い成果を出そうとするならば、提携するショップ選び、お得な商品プログラムの活用など、サイト運営者はいろいろ工夫をしなければなりません。この点こそが、アフィリエイトでもうけるためのポイントであり、運営者のセンスが問われるところです。

しかし、アフィリエイトでもうけるためのポイントは確かにありますが、それを実践したからといって必ずしももうかるとは限りません。いきなりそのようにもうけることだけを考えてサイトを作ることは、あまりおすすめできません。まずは、アフィリエイトがどのようなものなのか、実践しながら少しずつ様子を知っていくのがよいでしょう。もうけることよりも、商品選びを楽しみ、サイト運営を楽しんで進めることこそ、結果としてお金につながる近道であると、このテキストを読み進めていくうちに理解できるだろうと思います。

4.4 ASP(アフィリエイト・サービス・プロバイダ)の種類

アフィリエイトを始めるとき、まずは、自分がサイトに載せたい商品を買っている EC サイトと提携しなければなりません。では、EC ショップと提携するにはどうすればよいのでしょうか。

アフィリエイトでは、EC ショップとアフィリエイトが直接やりとりする場合は少なく、多くの場合 ASP (アフィリエイト・サービス・プロバイダ)と呼ばれる仲介業者が間に入ります。

一般的な ASP

アフィリエイトを始めるには、まず ASP に登録します。ASP には、アフィリエイトプログラムを提供したい EC ショップがたくさん登録されています。しかし、ASP 業者もいくつかありそれぞれ特色があります。また、登録されている EC サイトもそれぞれ違います。たとえば、紹介したい商品がきまっているなら、その商品を扱っている EC ショップが登録されている ASP に登録する必要があります。いくら ASP に登録しても、そこに登録されている EC ショップで紹介したい商品がなければ意味がありません。

ASP に登録すると、最初に Web ページの審査があります。審査に通ると、その ASP に登録されている EC サイトへ提携申請を出すことができます。ただし、ここで注意したいのは、ASP に登録できたとしても、提携申請を出した EC サイトの審査に通らなければその商品は紹介できない場合があることです。

ASPもECサイトも、審査の内容は、Web ページ内容、1 カ月当たりのページビュー数、1 カ月当たりの読者数など、サイトに関わる情報がメインです。審査基準は、ASP や EC サイトによって異なりますが、審査を通るためには、ある程度アフィリエイトを意識したサイトをあらかじめ用意しておく必要があります。

複数の ASP に登録するのは一向構いません。ある程度、アフィリエイトの Web ページができているなら、とりあえずすべての ASP に登録しておいてもよいでしょう。

一般的な ASP 一覧

- * リンクシェア <http://www.linkshare.ne.jp/>
- * A8.net <http://www.a8.net/> ASPの審査はなし。ただし、提携先のECショップの審査はある。
- * TRAFFIC GATE <http://www.trafficgate.net/>
- * VALUE COMMERCE <http://www.valuecommerce.ne.jp/>
- * ACCESS TRADE <http://www.accesstrade.net/>
- * 電腦卸 <http://www.d-064.com/>
- * JANeT(ジャネット) <http://j-a-net.jp/>

初心者優しい ASP やアフィリエイトプログラムを提供するサイトもある

ここまで読み進んできた読者のなかには、アフィリエイトを始める前に EC ショップサイトと提携しなければならないという作業に不安を感じる方がいるかもしれません。

確かに、ASP に登録し、EC ショップと提携するには、先にアフィリエイトサイト(ブログや Web ページ)を立ち上げる必要がありますから、初心者にとっては非常に負担になります。いくらブログで簡単にサイトが構築できるとはいえ、テーマやコンテンツなどがすぐれていなければ、審査のしようがありません。

しかし、安心してください。アフィリエイトをやりたい人が審査を経ずに登録できる ASP もあるのです。その 1 つが、上で紹介している「電腦卸」です。ここは、一応審査はあるのですが、素人のアフィリエイトを受け入れてくれる ASP です。また、ASP ではありませんが、アフィリエイトプログラムを提供するショッピングサイトがあります。その代表が「楽天市場」、「BIDDERS」、「Amazon.co.jp」などです。

楽天市場や BIDDERS は、それぞれのサイトの会員になる必要がありますが、Web ページの審査はありません。ご存じのとおり、楽天市場は、日本最大級のショッピングモールです。楽天に加入しているあらゆる分野の EC ショップの商品をアフィリエイトできます。また、BIDDERS はオークションとショッピングのサイトで、ここに登録されている商品をアフィリエイトできます。オークションの商品もアフィリエイトできます。書籍のアフィリエイトでは、Amazon が有名です。アマゾンに登録時に簡単な審査がありますが、それほど厳しくはありません。すでに Web ページをもっているならその Web ページで提携申請をしても問題はないでしょう。また、プロバイダが提供するブログの追加プログラムで、Amazon アソシエイト・プログラムが提供されている場合があります。アマゾンでは最近、本、CD、DVD だけでなく、ホーム&キッチンとして家庭用品やキッチン用品も取り扱っていますし、パソコン、ソフトウエア、ゲーム、おもちゃなども幅広く扱っていますから、幅広くアフィリエイトできます。

初心者優しいお勧め ASP は？

- * 楽天アフィリエイト <http://partner.afl.rakuten.co.jp/>
- * BIDDERS <http://www.bidders.co.jp/>
- * Amazonアソシエイト・プログラム <http://www.Amazon.co.jp/>

4.5 アフィリエイトの報酬

ASP やアフィリエイトプログラムを提供するショッピングモールなどは、それぞれ報酬の形が異なっています。現金支払いのところもあれば、楽天市場のように「楽天スーパーポイント」で還元される場合もあります。さらに、報酬を支払う方法もそれぞれのサイトによって異なっています。

報酬の形はほとんど現金支払い

アフィリエイトの報酬は、ほとんどが現金支払いです。

現金支払いの場合、アフィリエイトで得た報酬は ASP から支払われます。ASP によって支払い方法は異なり、支払いの最低金額が設定されているサイトもあります。

たとえば、「LinkShare」では最低金額は設定されていません。毎月売上げが発生すると月単位で支払われます。一方、「A8.net」では、報酬額が最低でも月 5000 円に達しないと支払いはありません。達成していない場合は翌月にもち越されます。また「電腦卸」では、報酬額は月最低 3000 円からの支払いで事務手数料が 500 円差し引かれます。

このように、ASP によって報酬の支払方法は違います。この情報は 2005 年 5 月現在のものですから、この先、報酬の支払い方法が変更する場合は十分に考えられます。

ポイント制を導入している楽天市場

報酬にポイント制を導入しているのは、楽天市場の「楽天アフィリエイト」です。

楽天市場の商品をアフィリエイトすると、報酬額はそれぞれ EC ショップによって異なりますが、支払いは楽天スーパーポイントで支払われます。ポイントは、そのまま楽天市場での買い物に利用できます。

なお、ASP の中には、楽天市場と提携しているところもあります。この場合、ASP 経由で楽天市場のアフィリエイトを利用すると現金収入を入手できます。

EC サイトによって報酬額は違う

アフィリエイトの報酬額は、ASP が決めるのではなく EC ショップによって異なっているのが原則です。

たとえば、A 店と B 店で同じ商品を扱っていても、報酬額が異なっている場合は少なくありません。このとき、両方のお店と提携しているのなら、報酬額の高いほうの商品リンクを張ってもなんの問題もありません。楽天市場では、商品を検索したとき、アフィリエイトの料率の高い順に並べ替えることもできます。また、ASP によっては、報酬額の高い EC ショップやプログラムを紹介している場合もあります。

できれば料率が高い EC ショップやプログラムを採用したほうが売れるとお金にはなりますが、必ずしも確実にお金につながるとは限りません。アフィリエイトは、私たちがいくら上手に読者を EC ショップの入り口へ誘導しても、EC ショップで買ってもらわなければ報酬にはなりません。案内した EC ショップサイトの仕組みが煩雑なら、読者は購入をあきらめて立ち去ってしまいます。そういった意味で、お店選びは重要な課題になってきます。

報酬はレポートで確認できる

アフィリエイトを始めると、どれくらい読者がクリックしてくれたのだろうか、商品を購入してもらえたのだろうかと気になります。こうした情報は、それぞれの ASP やアフィリエイトプログラムを提供するサイトで「レポート」としていつでも調査できます。1 日のページビューの数、それに対するクリック数、実際の購入数、報酬額などが表示されます。

4.6 EC サイトを見極めておこう

EC ショップの入り口へ案内した後は EC ショップ次第

初心者がアフィリエイトをするとき、報酬の料率に惑わされて提携する EC ショップを吟味せず、やみくもに商品をリンクしてしまう場合があります。もちろん、商品そのものが魅力的であれば、読者もクリックしてくれることでしょう。しかし、提携先の EC ショップが信頼できるかどうかをきちんと見極めておくことはとても重要です。

たとえば、EC ショップによっては、商品の配列が悪かったり、注文方法が面倒であったり、料金は先払いしか受け付けられないなど、ユーザーにとって買い物しにくいサイトがあります。また、注文メールを送ったら、なんの連絡もなくいきなり商品が送られてきたり、あるいは注文しても商品の到着が遅かったりなど、気もちよく買い物ができないサイトもあります。いくらアフィリエイトで私たちがサイトの入り口まで読者を誘導しても、ショップ側が気もちよく買い物ができる配慮をしていなければ、読者は商品を買ってくれないでしょう。

しかし、EC ショップを見分けるには、そこで買い物をし、利用してみないかぎり、その実際はなかなか分からないものです。提携するすべてのサイトをいちいちチェックしていたら大変です。アフィリエイトの成功者たちは皆さん、信頼できるショップへの商品リンクを張るようにしています。それは、自分が紹介したショップが悪い対応をするところであれば、自分たちのサイトの信頼性に関わってくるからというのが理由です。

そういう意味では、これからアフィリエイトを始めるにあたっていきなり ASP から始めるのではなく、まずは「楽天市場」などから始めてみるのも 1 つの方法です。その理由の 1 つは、楽天市場の中で運営されている EC ショップであれば、信頼がおけるからです。読者もリンク先が楽天市場内のショップであれば、安心して購入できるでしょう。また、日ごろ楽天市場で買い物をしている人にとっては、商品購入の手続きなどの面倒な手順が不要です。安心してきて気軽に買えるというのが利点です。また、楽天市場ならばほとんどの商品がありますから、紹介したい商品が見つからない場合も少なく、アフィリエイトもしやすいでしょう。

このようにして、アフィリエイトに徐々に慣れてきてから、ASP を利用するのも 1 つの方法です。

EC サイトによっては再訪問有効期間が設定されている

確実に報酬に結びつくようにするために、EC ショップによっては再訪問有効期間を設定しています。せっかく商品リンクから EC ショップの入り口へ読者を誘導しても、購入してもらわなければ報酬にはつながりません。しかし、なかには購入に迷ってしまう人もいます。すぐには購入せず、考えた末に購入する方もいます。そういう場合のために、EC ショップのなかには「再訪問有効期間」を設定しているショップもあります。

たとえば、Amazon のように、リンクで Amazon サイトにジャンプしてから 24 時間以内に注文された商品に対してのみ報酬を支払うという少々厳しい期間を設けているところもあれば、BIDDERS のように、読者がリンクから BIDDERS にジャンプして 30 日以内に商品を購入したら報酬を支払うという太っ腹なサイトもあります。

また、楽天市場、BIDDERS、さらに Amazon などでは、商品リンクの商品だけではなく、そのサイト内の商品を購入すれば報酬の対象になります。楽天市場や BIDDERS は再訪問有効期間も長く、アフィリエイトにはうれしい機能といえます。

(次章に続く)